

出演者紹介

青木 美樹

(ピアノ)

東京に生まれる。9歳で渡英、12歳でナショナルフィルハーモニーオーケストラとロンドンのフェステバルホールにてデビュー。ロンドン・パーセルスクール卒業後に渡米、インディアナ大学、イェール大学大学院卒。さらにドイツハンブルグ音大国家演奏家コースを首席で卒業。故ジョルジー・シェベック氏、練木玲子氏、ボリス・ベルマン氏、エフゲニー・コロリオフ氏に師事。

2004年、イタリア・イブラ国際コンクール入賞、さらにドビュッシー特別賞を受賞。そのほかエリーゼ・マイヤーコンクール（ドイツ）、コネチカット・ヤングアーティストコンクール、インディアナ大学コンチェルトコンクール（アメリカ）、セント・オーバンズコンクール、ハーロー・ヤングアーティストコンクール（イギリス）などに優勝、入賞。ニューヨーク・コンサートアーティスト・ギルドコンクール、セミファイナリスト。

ヨーロッパ各地、トルコ、カナダ、アメリカで演奏会に出演。ワシントン・シンフォニエッタ オーケストラ（アメリカ）、ハンブルグ・カメラータ（ドイツ）、ナショナル・シンフォニー、ロンドン・ソリスト室内オーケストラ（イギリス）などと共演した。またNDR（北ドイツ放送）、Radio Suisse Romande、Hessischer Rundfunkのラジオ番組にも出演。2006年にはヴァイオリニスト、イツァーク・パールマンの招待でアメリカ室内楽フェステバルに参加したほか、ピエール・アモイアルに認められスイス、フランス、カナダでリサイタル共演。現在は、ローザンヌ音大のアモイアル氏のヴァイオリンクラスの伴奏を担当。室内楽、伴奏を評価され毎年ザルツブルグモーツアルテウム・サマーアカデミーの公式伴奏者として招待されるほか、2009年、クロンベルグ・アカデミー（ドイツ）ではゴドン・クレーメル、マウリシオ・フックス、クリスティアン・テツラフのクラスで伴奏。2010年には、ピエール・アモイアル、フランソワ、サルクとのトリオコンサートの他、ノルウェー・バルドレスフェステバル、スイス・メニューインフェステバルなどでの演奏会が予定されている。

【ミュージアード】

「若い音楽家たちへの演奏の場の提供」そして「一般の聴衆への身近なクラシック・コンサートの提供」を目的に、若手音楽家集団として1990年10月に結成。これまでにサントリーホール〔小〕、王子ホール、安田生命ホールなどでコンサート・シリーズを開催。そのメンバーたちは日本のクラシック音楽界でも新鋭として数多く活躍、現在も100人以上の演奏家が登録している。音楽監督は飛鷹佑依。

<http://www.ne.jp/asahi/classic/musefactory/>

【ムジカーザ】

イタリア語の音楽（MUSICA）と家（CASA）という意味の、この音楽の家ムジカーザ（MUSICASA）は、代々木上原の高台に音楽専用の小ホールとして1995年の秋にオープンした。鈴木エドワード氏的设计による斬新な建物、駅から3分という絶好のロケーション、そして響きの良さ、充実した設備などからつくられる音空間には定評がある。オーナーは黒田珠世。

<http://www.musicasa.co.jp/>



ムジカーザ ☎ 03(5454)0054

(小田急線・地下鉄千代田線 代々木上原駅 徒歩3分)